

みさと

農業委員会だより

美里町農業委員会

美里町木間塚字中央1番地
TEL 58-1214 FAX 58-1216

第26号

令和元年12月1日
発行



～ 大豆の収穫作業（みらいす青生）～

主な内容

- P 2
・農業委員会活動報告
- P 3
・台風19号農業被害
・農地パトロール実施報告
・農地賃借料情報
- P 4
・総会等開催予定日のお知らせ
・農家相談日のお知らせ
・美里町表彰受賞
・編集後記

みらいす青生は、法人化して今年で6年目になります。現在の作付けは、水稲12ヘクタール、乾田直播45ヘクタール、単作大豆21ヘクタール、麦大豆の二毛作20ヘクタールを作付けし、露地野菜では、とうもろこし2・2ヘクタール、加工用玉ねぎ2ヘクタール、長ねぎ1・7ヘクタール、人参70アール、ブロッコリー60アール、枝豆20アールを栽培しています。収穫の方も順調に進んでいますが、特に玉ねぎが10アール当たりの収穫量が4・8トンと昨年より1・5倍の増収になりました。またこれからは、大豆、長ねぎ、人参の収穫など年末に向けて充実した日々が続きます。

認定農業者との意見交換会

農業委員 後藤 幸太郎

7月25日にJA新みやぎみどりの地域本部みどりの会館において、美里町認定農業者との意見交換会を開催しました。

意見交換会では出席者が3班に分かれワーキンググループ方式で司会進行、書記は農業委員が務め討議が進められました。

グループ討議のテーマは宮城県農業会議より示された農地の利用集積、遊休農地対策、担い手対策、米の生産調整のあり方、食育、農業分野を取り巻く国際情勢等、12項目の中で意見交換をしました。

限られた時間の中で現状の分析とこれからの美里町の農業振興の課題、方策などが各班発表され、宮城県農業会議、美里町へ報告され今後の農業振興に活かされると思います。

この後懇親会があり、各々の経営内容や目標等が話され活発な意見交換会となりました。



農業委員会委員 移動研修会

農業委員 久道 雄悦

農業者の高齢化や、労働力不足が叫ばれるようになってまいりました。それらに対応し、更なる規模拡大、生産効率や品質の向上を図る為に、スマート農業に期待が高まっております。そのスマート農業についての研修を目的とし、8月27日に茨城県つくば市にあるクボタ筑波工場を視察致しました。

まず、工場内でエンジンやトラクターの組み立てを見学しました。その後、クボタの職員の方からスマート農業についての簡単なお話を頂きました。

スマート農業技術の導入効果についていくつかの例をご紹介頂きました。例として、省力化・無人化による労働力不足の解消。精密農業の実現により、収量・品質の向上。重労働や危険作業からの解放による、労働環境の改善。それらのお話から学ぶ点も多く、大変有意義な研修となりました。



市町村農業委員会 農業委員及び農地利用最適化推進委員研修会

農業委員 古内 世紀

宮城県農業会議等が主催する今年度の市町村農業委員等研修会が9月3日に石巻市北村の遊楽館かなんホールで行われました。

今回の研修会では、農業従事者の高齢化（平均約67歳）と後継者不足、それに伴う遊休農地・耕作放棄地の発生という諸課題を克服・解決すべく、担い手への農地の集積・集約化つまり「農地利用の最適化」を促進するための具体的進め方・ポイント、実践例等について学びました。

具体的進め方・ポイントとは、町の担当課が関係機関と連携して「人・農地プラン」を作成し「実質化」する過程、つまり5～10年後における農地利用の意向把握と集落の農業者による協議・調整・相談等を経て、農地の出し手と受け手のマッチングを図るプロセス、この各段階に農業委員会が積極的に関与し支援することで、農地中間管理機構を介する両者の貸借を成立につなげるというものです。

実践例として「人・農地プランの実質化における栗原市農業委員会の取組み」、「七ヶ宿町の機構関連農地整備事業による農地集積・集約化の取組み」が紹介されました。

今後はこの研修成果を生かすべく研鑽に努めて参りたいと思います。



農業者年金に加入しましょう！

加入要件(次のすべてに該当)

- ① 年間60日以上農業に従事している
- ② 国民年金の第1号被保険者(保険料免除者は除く)である
- ③ 年齢は20歳以上60歳未満である



農家のための情報誌

全国農業新聞

全国農業新聞は地域農業者の代表である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。
ぜひご購入ください。

- 発行日：毎週金曜日
- 購読料：月額700円
- 申込先：農業委員会事務局



台風19号がもたらした農業被害

10月12日から13日にかけて、猛烈な勢力のまま関東地方に上陸した台風19号は、ゆっくりと北上し東日本に甚大な被害をもたらしました。その台風19号による一連の災害を、政府は激甚災害に指定し、全力で復旧にあると発表しました。



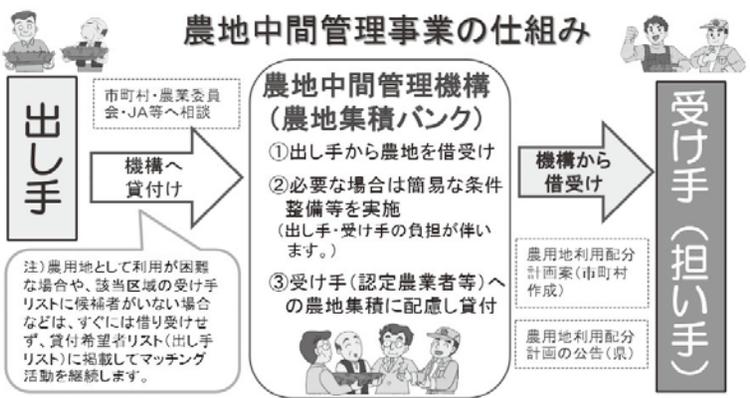
宮城県内では、阿武隈川が決壊した丸森町や、吉田川が決壊した大崎市鹿島台地区などが、洪水により大きな被害を受けましたが、本町においても、河川の越水により、住宅敷地や農地等が広範囲で冠水しました。

農業被害に関しては、大部分の田で稲刈りが終わっていた時期ということもあり、稲わらが流されて水路を塞いだり、道路に押し上げられて通行を妨げる被害が特に多く見られました。被害を受けられました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

農地パトロールを実施しました

農地利用の確認・遊休農地や違反転用の実態を把握するため、8月1～2日に町内全域の農地を対象とした農地パトロール（利用状況調査）を実施しました。その結果、遊休農地等に該当する農地が確認されましたので、所有者や耕作者に対し、今後の農地利用の意向調査等を行い、指導や助言を行っていきます。

農地中間管理事業を活用しましょう！



美里町賃借料情報

平成30年11月から令和元年10月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、下記のとおりです。

田（水稻）の部

締結（公告）された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数	
小牛田地域	南小牛田・牛飼	基盤整備地域	13,400円	16,000円	12,000円	65
		未整備地域	10,800円	11,000円	8,000円	211
	不動堂	基盤整備地域	15,400円	16,000円	12,500円	16
		未整備地域	9,200円	10,000円	7,000円	23
	北浦	基盤整備地域	16,000円	16,000円	16,000円	288
		未整備地域	10,500円	11,000円	5,000円	115
中埜	基盤整備地域	15,200円	17,000円	12,000円	55	
	未整備地域	11,000円	11,000円	11,000円	4	
青生	基盤整備地域	16,000円	16,000円	16,000円	2	
	未整備地域	11,000円	11,000円	11,000円	52	
和多田沼	基盤整備地域	16,000円	16,000円	16,000円	117	
	未整備地域	5,900円	11,000円	5,000円	81	
福ヶ袋	基盤整備地域	16,000円	16,000円	16,000円	6	
	未整備地域	11,000円	11,000円	11,000円	7	
練牛	基盤整備地域	16,000円	16,000円	16,000円	29	
	未整備地域	10,400円	11,000円	7,000円	16	
大柳	基盤整備地域	15,900円	16,000円	15,000円	39	
	未整備地域	10,600円	11,000円	10,000円	16	
木間塚	基盤整備地域	16,000円	16,000円	16,000円	5	
	未整備地域	-円	-円	-円	-	
二郷	基盤整備地域	15,800円	16,000円	12,100円	153	
	未整備地域	11,000円	11,000円	11,000円	30	
(参考) 美里町平均		13,300円			1,330	

※1 データ数は集計に用いた筆数です。 ※2 金額は算出結果を四捨五入し100円単位としています。
 ※3 「(参考) 美里町平均」の平均額は、各区分の平均値（四捨五入前）を平均した値です。
 ※4 貸人・借人共、町外の方（入作）の賃貸借契約は除いています。

美里町農業委員会総会等開催予定日

年 月	農地調査委員会	総 会
令和元年12月	13日(金)	25日(水)
令和2年1月	14日(火)	24日(金)
2月	14日(金)	25日(火)
3月	13日(金)	26日(木)

※各種行事等により日程は変更になることもありますので、その際はご了承願います。
 ※4月以降の開催日については、広報みさとでお知らせします。

農家相談日のお知らせ

農業委員会では、農家の皆さんの悩み・疑問に応えるため、農業委員による農家相談を開催しております。

農地や農業に関する困りごと等の相談を受け付けますので、お気軽にお越しください（予約は受け付けておりません。受付順となります。）。

- 開催日** 12月5日(木)・20日(金)、1月10日(金)・21日(火)、2月5日(水)・20日(木)
3月5日(木)・19日(木)
- 時 間** 午前9時から12時まで
- 場 所** 美里町南郷庁舎1階 農業委員会会長室
※4月以降の開催日については、広報みさとでお知らせします。

美里町表彰受賞

11月21日、美里町文化会館を会場に「令和元年度美里町表彰式」が開催されました。邊見勝寿委員（会長職務代理者）（二又）と後藤幸太郎委員（平針二区）が、多年にわたり農地の効率的な利用促進に努め、地域農業の振興に寄与したことが認められ表彰されました。



後藤 幸太郎 委員



邊見 勝寿 委員

受賞されたお二人には、今後、益々のご活躍が期待されております。

編集後記

早いもので、もう師走。何かとあわただしい季節となりました。平成から令和へと一新した今年は、災害の多い一年だったといっても過言ではありません。今年も、大型の台風により各地に甚大な被害がありました。この影響により、町内では一部の農地が冠水し、稲刈りや大豆の収穫が例年より遅れてしまいました。ワラの梱包や麦の播種作業が滞りなく行われたようです。台風をはじめとした自然災害の被害に限らず、農地に関するお悩みがありましたら、私たち農業委員まで、お気軽にご相談ください。

- 発行責任者** 会長 伊藤 恵子
- 農業委員会だより編集委員会**
- 編集委員長 大崎 幸信
- 副委員長 古内 世紀
- 委員 邊見 勝寿
- 委員 後藤 幸太郎
- 委員 我妻 卓美
- 委員 久道 雄悦